

事務事業名	雨水浸水対策事業	担当	上下水道部 下水道課 工務係	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	6	防災体制の整備
成果指標	名称	単位	3 年度実績	
	整備面積	ha	0	
	管渠延長	m	176.1	
	整備率	%	60.8	
事業概要	近年、各地で自然災害が相次いで発生し、大きな被害を受けている中、市民の生命、身体、財産を守るため、災害対策の再認識や防災体制の強化に取り組んでいる。雨水整備については、市街地の浸水を防ぐため、昭和48年1月に事業認可を得て、行屋第1排水区の140haに着手し、以降順次整備を行っている。雨水の事業計画面積は1,324.1haで、令和3年度末現在の整備状況は、805.2haが整備され整備率は、60.8%となっている。			
3 年度実績・成果・課題	実績 *繰越 雨水函渠工事(L=176.1m)熊倉町地区 課題 浸水が懸念される箇所（未整備箇所・旧基準整備箇所）での下水道による浸水対策について、地形的要件や関連施設の整備状況等を踏まえ、降雨時の状況を注視しながら施設整備の必要性を判断し、当面・中長期の整備方針を定め、水災害に強いまちづくりの実現を図る。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 雨水管や側溝の排水能力を超える強雨の際に発生する内水氾濫の浸水想定区域を示した「内水ハザードマップ」を令和7年度までに作成し、市民に対し情報提供を行い事前の備えに役立てていく。			